

名産研 活動レポート

VOL.37配信

2026.4.30

中部TLOより

「現場へ持ち込める「小型・可搬型レーザーピーニング装置」実機体験会」を実施しました

- 日時/
1月22(月)～3月13日(金)
- 場所/知の拠点あいち
- 主催/名古屋産業科学研究所

愛知県の産学行政連携事業「知の拠点あいち重点研究プロジェクトV期」の一環として進めています

名古屋産業科学研究所は、インフラ保守・金属疲労対策を革新する次世代 表面処理技術として、愛知県の産学行政連携事業「知の拠点あいち重点研究プロジェクトV期」の一環として開発を進めている「小型・可搬型レーザーピーニング装置の実機体験会」を実施しました。

■従来の課題を解決する「可搬性」

レーザーピーニング(Laser Peening)は、金属表面に高エネルギーレーザーを照射することで圧縮残留応力を付与し、金属疲労寿命の延伸や部材の軽量化に極めて有効な次世代表面改質技術です。

一方で、従来の装置は大型かつ固定式であったため、設置場所が限られ、適用範囲は主に一部の工場設備に限定されていました。

今回開発した小型・可搬型レーザーピーニング装置は、「現場へ持ち運べるサイズ」を実現。これにより、既存の製造ライン内での施工はもちろん、現地作業が不可欠な橋梁・配管・プラント設備などのインフラ構造物の保守・補修現場への適用も可能となり、レーザーピーニング技術の活用範囲を大きく広げます。

レーザーピーニング装置



実機を使用した体験の様子



3Dロボット制御レーザーピーニング(拡大映像)

<https://youtu.be/6CuQ6sorbpc?si=W4DRq8yg2KQhdCkx>

CHCより

「中学校企業訪問」で岡崎市の矢作中学校が弊所を訪問されました

名古屋市内の企業訪問を目的として中学1年生6名が弊所を訪れ公益財団や弊所の事業について分かりやすく紹介しました

- 日時/
3/13(金)9:30～11:30

中学生の皆さんが名古屋市内の企業訪問学習の一環として、当所にも6名来所されました。公益財団法人と株式会社の違いや、当所が担う事業内容について、動画も交えて紹介しました。

生徒さんからは多くの質問が寄せられ、最初は緊張した様子も見られましたが、次第に積極的に参加し、熱心に耳を傾けてくださいました。今回の訪問を通じて、社会にはさまざまな仕事があり、その一つとして当所の役割を知っていただく良い機会になったと感じています。

紹介風景



「スマート農業を活用した野菜のサプライチェーンセミナー」が開催されました

●日時/
12/19 (金)10:00~15:30

●会場/鳥取大学

弊所の鈴木常務が講演と辻農園辻様とのトークセッションを行いました

共催
鳥取大学農学部
鳥取大学技術部
北海道大学スマート農業教育拠点

本セミナーは、スマート農業を支える最新の技術を、講演+展示で幅広く学べる特別セミナーです。ドローン、AI活用、農業ロボット、スマート農業の現場など、“農業のこれから”を一度に知ることができる貴重なイベントです。弊所鈴木常務が「農産物のサプライチェーンを支えるスマート技術について」の講演と特別企画では辻農園の辻様とトークセッションを実施しました！

↓当該パンフ抜粋

令和7年度スマート農業に関する農業教育機関の取組情報(研修委員募集)

スマート農業を活用した野菜のサプライチェーンセミナー

講演 10:00-12:00 **定員 80名**

懇会のご挨拶
鳥取大学 農学部長 明石 欣也教授

楽しく学ぼう！スマート農業
北海道大学 スマート農業教育拠点 星野 洋一准教授

農産物のサプライチェーンを支えるスマート技術について
鳥取大学 農学部生命環境農学専攻 辻 剛彦

鳥取県におけるドローン空撮によるプロコローの収穫予測について
鳥取県 西部庁事務所農務部 遠藤 聡介様

プロコロー機械化一貫体系について
サンマークグリッパジャパン株式会社 農務推進部 玉井 啓太郎様

展示・トークセッション 13:00-15:30 **定員 80名**

ドローン
株式会社 HIT
+ Drone Technology

農用金庫自動野菜採集機 (PW200R)
株式会社 トラクタ

自動収穫ロボット
AGREST 株式会社

プロコロー収穫機
株式会社 三和

生果工程管理(アクリノート)
株式会社 三和

環境モニタリング
株式会社 三和

★特別企画★
農家がAIを使ってみた！
つじ農園 鈴木常務
スウェーデンのAI活用企業である ChatGPT などのAIを使った今回のセミナーセッションは、農家交流を促すトークセッション！
開催時刻：13:30-14:30

↓鈴木常務の講演(右)



↓車座でのトークセッション



「サトウキビからSAF」セミナーが開催されました

～地域とつながる航空の未来～

●日時/
3/6 (金)13:00~16:00

セミナーは農林水産省 農産局地域作物課「砂糖等の新規需要開拓支援事業」の助成を受けて実施しています

主催/ 戦略農業振興支援
ネットワーク合同会社
後援/ (公財) 名古屋産業科学研究
研究所
事務局/ 合同会社AMU経営
研究所

本セミナーは企業・組織・学生・一般の皆様向けに、環境にやさしい事業に興味があるがSAFを詳しく知らないという方、SAFという言葉は知っているがサトウキビとどう関係するか興味がある方に、現状を分かりやすく、SAFが開く未来の可能性について解説しました。

パネルディスカッションのモデレーターには弊所の鈴木常務理事が務めました。

パンフ抜粋

甘味資源作物の他用途利用セミナー

サトウキビから SAF

～地域と結ぶ航空の未来～

セミナー風景



モデレーター: 鈴木常務 (左)



研修のご案内

新規ビジネス創出シリーズ!

- 講座名
 - ◆モノづくり中小企業のイノベーションの勘どころ
 - ◆新規事業を成功させる実践MOT紹介
 - ◆『創造的な問題解決手法：TRIZ』を習得しよう!
- 受講方法
 研修契約後、講義録画を1ヶ月間貸与しますので、同社内環境にて、いつでも、何人でも、何度でも視聴可能です
- 講師との質疑
 受講期間内又は受講直後にzoomにて直接1H程度出来ます
- 受講料
 5万円/1社(税込、質疑料込)

名産研の研修(テレ・ラーニング)が他セミナーと違うのは!

<メリット>

- 社外専門セミナーへの出張及び開催日に合わせて業務スケジュール調整する必要がありません
- 自社独自で学習進捗管理が出来ます
- 講師とのつながりが出来、受講後も実務課題の技術相談に発展することも可能です。(別途契約)

新規ビジネス創出シリーズ

◆モノづくり中小企業のイノベーションの勘どころ



中小・ベンチャー企業がイノベーションを起こすには何が必要でどうすべきかを実践的に解説します

◆新規事業を成功させる実践MOTの紹介



社内でイノベーションを起こす前にストーリーでイノベーションを中小・ベンチャー企業がイノベーションを理解する

◆『創造的な問題解決手法：TRIZ』を習得しよう!



TRIZ (Theory of Inventive Problem Solving) とは、数百万件に及ぶ世界中の特許を分析し、その問題解決に至るプロセス、解決策の発想パターン、技術的な進化パターンなど、体系化された「創造的な問題解決の手法」です。TRIZを活用するための実践テクニックについて、例題を使体験してもらうことで、実務における技術課題に適用できるレベルを目指します

テレ・ラーニング講座詳細はこちら↓

<https://www.nisri.jp/chc/telelearning/index.html>

財団事務局より

2026年3月通常理事会を開催しました

- 日時
 3月25日(水)
11:00~12:00
- 場所
 名古屋商工会議所ビル
会議室

会場とオンライン併用型開催で行い、議事案のご承認を得ました。

出席役員 理事13名 (web出席含む) 監事 1名

- 審議案件
- 第1号議案 「令和8年度事業計画(案)」に関する件
 - 第2号議案 「令和8年度収支予算書(案)」に関する件
 - 第3号議案 「令和8年度資金調達及び設備投資の見込み」に関する件
 - 第4号議案 「公益目的事業の種類又は内容、収益事業等の内容」に関する件
 - 第5号議案 「旅費規程(案)」改定に関する件

報告事項 代表理事、業務執行理事の職務執行の状況報告

小野木専務理事(左) 議長:内藤理事長(右)

